

登録コード	MA760700	開講年度	2026			
授業科目名	先端理学療法学演習				担当教員	西澤 公美 他
英文授業名	Practice in Advanced Physical Therapy				副担当	小宅 一彰・中村 慶佑・岡野 怜己
単位数	4	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・6時限 金曜・7時限	対象専攻 / 学年
講義室	保健学科111講義室 保健学科131講義室		授業形態	演習	授業科目区分	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)					
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。				研究デザインの設計、データ収集、データ解析という一連の研究プロセスの要点について、アクティブラーニングを基盤として理解を深める。	
(2)授業の概要	先端理学療法学特論で学習した内容に関する演習を行い、研究に必要な技術を包括的に学修していく。特に、受講生の研究テーマに合わせた研究デザインからデータ収集および解析に至るまでの一連の流れについて、ディスカッションを含めたグループ討議を通したアクティブラーニング形式で修得していく。					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	1．研究デザインについて様々な角度から検証していくための要点を理解する 2．基本的なデータ収集方法と解析方法を組み立てるための要点を理解する 3．データを収集し、そのデータの解析を適切に実践するための方法論を理解する					
(4)達成目標（個別行動目標SBOS）	1．研究デザインについて様々な角度から検証し、ブラッシュアップしていくことができる 2．基本的なデータ収集方法と解析方法について先行研究を参考に組み立てることができる 3．実際にデータを収集し、そこで得られたデータの解析を適切な方法で行うことができる					
(5)授業計画	以下の内容で行う ・EBPに基づいた研究デザインの立案 ・EBPの実践 ・国際論文抄読とまとめ ・データ収集方法の検討 ・データ収集の実践 ・データ解析方法の検討 ・データ解析の実践					
(6)授業の進め方	・講義および学生によるプレゼンテーション ・グループワーク					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	講義、グループワーク、プレゼンテーションを中心に進めていきます。 事前学修： シラバスを参照して、概論的な情報についての能動学修を進めておいてください。 事後学修： 講義の内容を参照して、関連する論文を講読し、より具体的な理解のための能動学修を進めてください。 本授業の単位修得には45時間の学修が必要であるため、以下のような学修時間を必要とします。 授業時間30時間（2時間×15回）＋ 自己学習時間15時間（1時間×15回）＝ 45時間					
(8)成績評価の方法	下記の3項目から総合的に判断する ・発表内容 ・グループワークへの貢献度					
(9)成績評価の基準	自身の研究に関して、本授業で学んだことを反映させた発表により判定 研究デザインを考え、実際にデータを収集し適切な方法で解析が行えていれば「秀」 研究デザインを考え、データ収集まで行えていれば「優」 研究目標に合致したデザインが組めていれば「良」 先行研究をまとめられていれば「可」					
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問・相談への対応： 保健学科理学療法学専攻 西澤公美 hitnishi@shinshu-u.ac.jp 小宅一彰 k_oyake@shinshu-u.ac.jp 中村慶佑 keipons08@shinshu-u.ac.jp 岡野怜己 satoka@shinshu-u.ac.jp					
【テキスト，教材，参考書】	講義の中で適宜紹介します。					